

平成26年度 清瀬市立清瀬中学校 第1回学校関係者評価表

学校教育目標

人間尊重を基本理念に国際的視野にたち平和を愛する社会人の形成をめざして、
 ・正しい判断力と粘りつよい実践力をもった生徒を育てる ・健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる ・高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる。

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 伝統を受け継ぎ、安全で地域・保護者から信頼を寄せられる学校
- 【目指す児童・生徒像】 自らよく学び、よく考え、互いに支え合い認め合える豊かな心と強い意志をもち、国際的視野に立てる生徒
- 【目指す教師像】 生徒のよさや可能性を引き出し、教職員が互いに磨き合い、協力し合える組織をつくり、公務員としての自覚有る行動のとれる教職員

前年度までの学校経営上の成果と課題 学力の向上と命の教育に特に重点を置いて学校運営を行った。本校は平成25年度より2年間の学力向上推進モデル校に指定され、その初年度として具体的な向上への取り組みを行った。その成果を、平成26年秋に数値で把握し、27年2月に発表する予定である。命の教育については、赤ちゃんのチカラプロジェクトや、メンタルヘルスリテラシー、本校独自の取り組み等で十分に行うことができた。また、生徒が自ら考えて行動できる、判断力の育成を図った生活指導を実践している。課題としては、不登校生徒を減らすことや、特別支援学級と通常学級との交流学習を質量ともに向上させること、ホームページの充実によって、学校理解をさらに進めることが挙げられる。

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第1回学校関係者評価
		努力目標	成果目標		
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業で復習テストを実施する。 授業規律を確立するための授業運営ルールを1学期に規定し、全教員に徹底させる。 小中相互の授業参観を行う。 教務主任を中心に進め、改善計画を全教科で作成する。 授業公開日に取り組み状況を公開する。 	4	3	計画どおりに全て行っている。学力向上は本校の研究課題であるため、国数英の5教科で毎授業で復習テストを行うなど、向上の取り組みに力を注いだ。その結果、学力調査で都平均を4教科で上回る事ができた。平均を下回っている英語の学力向上のために、授業改善をさらに進めていく必要がある。	授業は規律正しく行われ、生徒は落ち着いた態度で臨んでいる。評価委員会は、授業見学の後にあるといい。
	<ul style="list-style-type: none"> 命の教育を全学年で行う。 ふれあいアンケートの毎学期実施。 休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う。 不登校生徒への家庭訪問を行う。 全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。 委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。 	4	4	夏季休業中に、全教科で授業改善計画を作成した。すでに3回行った土曜授業公開においても、来校者アンケートには授業に対して多くの高い評価があった。しかしながら、少数ではあるが、特定の授業への厳しい意見もあったので、管理職による授業観察と、教員相互の授業参観を今後も行い、授業改善を進めていく。	授業は規律正しく行われ、生徒は落ち着いた態度で臨んでいる。教員は一生懸命教えている。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 命の教育を全学年で行う。 ふれあいアンケートの毎学期実施。 休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う。 不登校生徒への家庭訪問を行う。 全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。 委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。 	4	4	全て計画どおりに行っている。学校としても、また、教員個々の取り組みとしても、十分に意図的・計画的に行っている。	命の教育に力を入れていることがよく分かる。アンケート結果を見ても、子供たちによく目を行き届かせている。不登校生徒が3年生に多いのは、何か理由があるのか気になってしまう。このような立場だから説明を受けて理解することができるが、一般の保護者には生徒個々の事情まで説明できないため、誤解を生む心配がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 給食の残菜量を減らすため、教員による配膳の工夫や生徒による完食推進キャンペーンを行う。 	3	4	生徒は様々な活動に意欲的に取り組んでいる。努力目標として設定した、「学校・学年便り等で活躍を紹介する」は、年度の途中では全ての表彰を行うことはできないため、最高の評価を得ることはできない。努力目標の評価基準の設定を適切にすることが課題である。	部活動大会や各種コンクールで、清瀬中学校の生徒が活躍している様子は、学校だより等でよくわかる。
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業開始前からランニングを行う。 説明を効率的に行うことによって運動の時間をより多く確保する。 	4	4	授業開始前から体操を始め、その後ランニングを行っている。このようにして、体力向上のために、少しでも運動時間を確保する努力を行っている。校内におけるあらゆる運動の場面では安全指導を怠らざっているが、捻挫等の怪我が絶えないことが課題である。更なる安全指導と運動によって、怪我の少ない体を育成していく。	遊び場が少なくなったことや、子供たちが塾通いをしているので、運動する機会が少なくなってきた。外で遊ぶ子供たちを見かけることが、ほとんどなくなっている。学校の体育の授業の役割が、ますます重要になっていると感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> 1年次にUNICEF理解教育を実施。 2年次に『留学生が先生』プロジェクトを利用した交流授業を実施する。 3年次に、清瀬市内に在住する外国籍の方々との交流授業を実施する。 個別指導計画を作成し、生徒個々に対する指導の充実を図る。 特別支援学級と通常学級との行事交流、部活動交流、給食交流を行う。 	4	3	残菜ゼロキャンペーンを保健給食委員会が推進している。給食試食会も多くの参加者があり、盛況であった。栄養士や調理業者による安全な給食の提供への努力に、参加者アンケートでは高い評価が得られている。全保護者からの評価を得ることが課題であるため、第2回ではしっかりと取ってきたい。	家庭でファストフードやスナック菓子を与えることが多くなってきた。保護者も仕事で忙しいため、栄養バランスや彩りの工夫などが、なかなかできないのではないかと。子供の栄養や食事は、本来家庭に責任があるが、現在では学校給食が、重要な意味を持っていると思う。
本校の特色①	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で計画的に職場訪問、職場体験、上級学校調べ、進路講演を行う。 調べ学習、発表活動等を通してリテラシーや言語能力を育てつつ、自ら進んで進路学習に取り組む指導を進める。 ホームページの積極的な更新。 学校便りの地域への配布。 学校行事や授業公開等の事前案内。 健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。 	4	4	2学期までに、全て計画どおりに行った。保護者・生徒・教員からも高い評価を得ている。しかしながら、この取り組みは今年度から始めたものであるため、3年間を見通した国際理解教育として、実施内容と実施学年が適切であるかの検討を、担当分掌において行っている。	以前には無かった取り組みであり、期待している。
	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級と通常学級との行事交流、部活動交流、給食交流を行う。 	4	2	全て計画どおりに行っている。11月下旬の段階においては、未実施のものもあるため、成果目標としての生徒評価は決して高くはない。年度末までに全て実施していけば、高い評価を得ることができる予定である。	特別支援学級の1組のことを、教員や保護者が“1組さん”と呼ぶことがある。この呼称に、差別意識を感じることもある。
本校の特色②	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で計画的に職場訪問、職場体験、上級学校調べ、進路講演を行う。 調べ学習、発表活動等を通してリテラシーや言語能力を育てつつ、自ら進んで進路学習に取り組む指導を進める。 ホームページの積極的な更新。 学校便りの地域への配布。 学校行事や授業公開等の事前案内。 健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。 	3	4	全て計画どおりに行っている。外部人材の活用は、第1・2学年においてはすでに実施しているが、第3学年では実施予定がなく、努力目標においては最高の評価を得ることができない。評価基準の設定に誤りがあった。成果目標は達成している。	引きこもりを防ぐためにも、学校で進路学習を行うことは、非常に意味がある。インターネットで調べるだけでなく、職場体験や職場訪問を行っているのは非常によい。
	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの積極的な更新。 学校便りの地域への配布。 学校行事や授業公開等の事前案内。 健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。 	3	2	ホームページの更新は、技能的な問題があつて思うようにできなかった。担当職員の技能研修を更に進めていくことによって、解決をはかっている。保護者等による参加は昨年度よりも増加しているため、来年度は「1家庭1夜」をさらに推進していきたい。	部活動大会や各種コンクールで、清瀬中学校の生徒が活躍している。その様子は、学校だより等で教えてもらっているのによくわかる。毎月もらえるのでありがたい。